



さくらたより

令和3年度 学校だより
NO. 22
令和4年1月25日発行
山形市立桜田小学校

たてわり班活動 ～子どもが子どもに惹かれ合い～

コロナウイルス感染症拡大に伴い、やむなく 一時活動停止

毎日の掃除、ロング昼休みの遊び、さくらピクニックなど、縦のつながりを大事にした活動を重ねてきました。3学期、子どもたちの姿から、お互いの関係がより親密になっていることがうかがえました。ある子たちは、廊下ですれ違うとき、お互いに“にこっ”と笑顔でさりげなくあいさつします。立ち止まってお互いにハイタッチすることも。低学年の子は先輩の姿を見かけると駆け寄って抱きつきます。先輩は膝をかがめて優しく言葉を交わし、手を振りながら分かれま



3学期はじめ班ごとあそび

掃除では、次年度に向けて5年生がリードする立場になりました。張り切る5年生。「あっ、まず、まどの隙間、広げようか。じゃ、雑巾ぬらして、そこの机拭いて」などなど。自分も動きながら、てきぱきと指示。嬉しそうに自分の仕事をやる下学年。6年生はそっと見守りながら、すみずみを掃除します。

遊びでは、笑い声が絶えません。お互い気心が知れてきたこともあり、少々わがママをいう低学年もいますが、それを上手にコントロールし、大きな言い争いにならないように言葉をかける高学年の差配ぶりも目立つようになりました。

このようにして、子どもが子どもに惹かれ合って絆を強める基盤としての“たてわり班活動”です。卒業まであと2カ月、これからクライマックスを迎えようとしていたのですが、連日の報道のように、コロナウイルス感染症拡大が止まりません。やむなく、一時活動停止を決めました。でも、これまで培ってきた関係は続きます。廊下や登下校での親密なやりとりは、そっと続くことでしょう。

金管バンド ～3年生への引き継ぎ～

コロナウイルス感染症拡大に伴い、やむなく 一時活動停止

入部した3年生は、まずは楽器を体験してみる — と、先輩から教わりながら楽器に触れ、音出しなどを行ってきました。希望の楽器を絞り込み、自分が担う楽器が決まり、同じパートの先輩とあらためて顔合わせをしたところです。

今後、卒業式の入退場曲の練習に集中し、「事前録音」して式の日



日に放送で曲を流す — このような段取りまで進んでいました。とても悔しいのですが、この活動も、やむなく一時停止です。報道されている感染状況では、しかたありません。でも、伝統の火は消しません。先輩から教わったこと、3年生も確実に引き継いでくれることでしょう。保護者の皆様、どうかご理解をお願いいたします。

子どもがつぶやきます。「マスク時代、早く終わるといいね」



タブレット持ち帰り

情報を活用する力・自己を調整する力を育む

国が推進するGIGAスクール構想により、急速に進むタブレット利用。私たち教職員は、自己研修を重ね、学んだことをお互いに伝えながら実践につなげています。

子どもたちは次のようなタブレット利用を行ってきています。

- カメラ機能を使っての写真・動画撮影
- ワープロソフトを使って文章を入力（ローマ字）
- 「学びポケット」を使っての学習
- 「eライブラリアドバンス」を使っての学習
- 検索サイトを使っての調べ学習
- プレゼンテーションソフトを使って発表資料を作成し、友だちと交流



本校でも、21日（金）から5・6年生の家庭への持ち帰りが始まりました。今後も「週末の持ち帰り」と利用を想定しています。今回はWi-Fi接続テストも行っていただきました。ほとんどのご家庭でインターネット利用が可能と分かりました。ご協力ありがとうございました。今後の家庭学習の在り方や授業づくりの工夫につなげて参ります。

「GIGAスクール構想」

“Global and Innovation Gateway for All ”
(全地球規模で) (技術革新) (入口) (全ての子ども)

「これからの世界を生きる全ての子どもにとって、
全地球的規模で革新的な入口」となることを願って命名

教育の手段は変わっていきます。「全ての子どもに、一斉に、同じようなスピードで、同じ内容を」というようなやり方は、時には必要ですが、主流ではなくなりつつあります。

やり方そのものを改善できたり、世界の様々な知見や知恵を活用できたりするのに使わないことは、飛行機、電車、車等の交通ツールが使えるのにわざわざ徒歩だけを選ぶのと同様、可能性の大きな損失です。徒歩「しか」選べないのと、車も使えるし徒歩「も」選べるのとでは、大きな違いです。

(下記参考本より 引用)

これまでの一斉学習「も」使えるし、ICT機器「も」使えるしと、選んで学んでいけるようにと、学校を取り巻く動きが進んでいます。

本校は、報道されるような先進の実践校のようにはいきませんが、「私たち教職員が学びながら使ってみる」と、動き出している現状です。やってみて、何か問題点が見えてきたら改善を図りながら実践を重ねていく — というような考え方で進んでいっていることを、ご理解ください。

参考：『GIGAスクール構想で進化する学校、取り残される学校』
(教育開発研究所 2021年9月 発刊)